

## 2026年2月定例会 一般質問 2026.3.3 提出



### 1. 消防行政について

質問＞昨年、国内で発生した大規模な林野火災を防止するために改正された条例の市民への広報・周知について伺いたい。

回答＞本市では大規模な林野火災は発生していないものの、林野火災に繋がるおそれのあるたき火に起因する火災は、令和3年から令和7年までの5年間で81件発生しており人為的な要因が殆どである。

市民への周知は市ウェブサイトや広報ながさきへの掲載、

報道機関への協力依頼を行うとともに、林業・農業関係団体への説明も行う。警報発令時は、防災行政無線、市公式 LINE 等による注意喚起や消防車両による巡回パトロールを実施している。

## 2. 教育行政について

### (1) 学校給食センターの在り方

質問＞令和 4 年に運用した「北部学校給食センター」のこれまでのノウハウを次期運用予定の「南部学校給食センター」、「中部学校給食センター」に生かす必要がある。対策について伺いたい。

回答＞食缶の材質を「ステンレス又は同等以上」とする。危険異物の混入については、国際的な衛生管理の手法である HACCP(ハサップ)や文部科学省が定める学校給食衛生管理基準等の求めており、供用開始後も適宜モニタリングを実施し、適切な衛生管理で運営していく。

### (2) 「熱中症対策の検討状況」について

質問＞酷暑が予想される今年の夏場に向け、学校ではどういった熱中症対策について伺う。

回答＞教室や体育館等で熱中症指数計を活用し、気温や湿度等をリアルタイムに確認し、暑さ指数に応じた活動の目安を基に、「運動は原則中止する」、「積極的に休憩をとる」などの対応を実施する。こまめな水分補給や適切な休憩時間の確保、健康観察による熱中症の早期発見、保健室においては、冷却用品や経口補水液等を常備する。

### 3. 職員の働き方について

#### (1) フレックスタイムの導入

質問＞本市では時間休暇、半日休暇など職員の働きやすい環境整備に取り組んでいるがフレックスタイムの導入の考えはないか。

回答＞フレックス導入は窓口業務や市民対応に影響が無いよう、引き続き他都市の状況を調査研究していく。

## (2)職員研修の実績

質問＞市民サービスの向上、市役所全体のレベルアップを図るには各種研修の受講で自己研鑽をする必要があると考えるが研修の実績について伺う。

回答＞研修は職場全体で育成を行う①職場研修  
職場から離れて学ぶ②職場外研修、職員が自発的かつ主体的に取り組む③自己啓発の領域で取り組んでいる。  
研修や、職員の主体的学びを通じて市役所のレベルアップを図り、市民サービス向上へ繋げていく。

## 4. 女神大橋の安全管理について

質問＞昨年、女神大橋で停車中の乗用車を避けようとした大型トラックの運転手が橋から落下する痛ましい事故が発生した。事項防止に向けた県の対策について伺いたい。

回答＞停車車両を発見した場合には、警察への通報が

原則である。現在、県と道路公社において、可能な範囲での対策について検討している。今後も市民が安心して通行できるよう、引き続き関係機関と必要な情報共有を図っていく。

#### 5. 南部地区の自治会要望の処理状況について

質問＞市道や里道などの生活道路や河川、公園等の身近な施設に対して、自治会からの改善等の要望を行っている。南部地区における自治会要望への対応状況について伺う。

回答＞単位自治会でとりまとめた「生活道路・河川・公園等修繕要望書」を毎年8月までに各総合事務所へ提出している。

要望に対する実施率は例年7割程度で未実施の案件は優先順位や課題解決に向けた手法を検討していく。

国・県道に関するものもあることから、内容に応じて所管部局等へ円滑な引継ぎを実施していく。